

「琴海町の爆風」

祖母が生前に話してくれた事です。

祖母の実家は、長崎市琴海町尾戸町にある又兵衛の浜近くで大村湾を望む場所に有ります。

原爆が落ちた時の爆風を覚えていたそうです。爆心地から十五キロメートルはありそうですが、

爆風で風呂場の窓ガラスが粉々に割れる衝撃があったのだそうです。小学生の私には今でも

忘れられない話です。

(*昔の窓ガラスは薄いものでした。また外付けの昔式風呂です。)

琴海戸根原町 T・T

